

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KIDSDIARY松原		
○保護者評価実施期間	R7年 3月 3日		～ R7年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R7年 3月 3日		～ R7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様から事業所を楽しんでいただいている。	信頼関係の形成をまずは念頭において支援にあたるようにしている。	慢心せず日頃から取り組んでいる努力を継続していく。
2	活動プログラムに工夫がなされている。	様々な活動プログラムを考案し実行している。	利用者のニーズに合うような、または5領域に沿いながら何を目的としたプログラムなのかということを突き詰めていく。
3	児童理解に努めている。	児童理解の時間を確保している。	取り組みを継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の開催方法	昨年度の反省をふまえて開催することはできたのだが、タイミングや周知方法が良くなかった。	参加しやすいような機会と周知方法の練り直しが必要。どの時期が参加されやすいか検討をしていく。
2	ペアレントトレーニング等の家族参加型のプログラム	ペアレントプログラム等の研修を職員が受けてはいるが、それを伝えるまたは教えるとなると準備等の突き詰めを行う時間が必要。	時間の割り振りを有効に使い時間を捻出していく。
3	地域との交流	安全面や個人情報保護の観点から地域の方を呼ぶという発想に思い至らなかった。	地域の行事に参加をするなどして地域の交流を図っていきたい。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 令和7年4月10日				利用児童数	回収数	
KIDSIDIARY松原	23年月日				16	16	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	4		1	移転後は狭くなったと子どもから聞いている。 移転後が分からない。	スペースを有効活用していきたい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3			若い方が数名いらっしゃるが、他の方も含めて専門知識や経験数が気になる。	職員の資格は契約時に丁寧な説明をこころがけているが、確かに専門知識の有無や経験数は伝えてはなかった。より丁寧に伝わるようにしていきたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	6		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	9	1	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5	1	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2			電話は最初の訪問があったがその後はない。子ども課題の共通理解はできていると思うが活動の様子は連絡帳に簡単に書かれているので詳しい様子が分からない。	詳しい活動の様子が伝えられるように活動の際にでも伝えていきたい。また電話の発信はお伝えがあれば日どりを調整して行っていることを周知していきたい。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2			聞けば助言はして頂けた。	継続して助言を行ってきたい。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	4	4		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	4		2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	3			インスタや書面で活動の様子は時々確認できるが自己評価はよく分からない。	自己評価はホームページに載せていることを周知していきたい。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1	顔出しOKかどうかはきちんと確認して頂いて安心しました。	今後も許可される際には説明と同意を取って行っていきたい。	
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	3				
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	4		2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2				
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			固定の曜日とは問題ないがその他の曜日は嫌がる。	固定の曜日以外にも安心してご利用いただけるように信頼関係の形成を強化していきたい。
	29 事業所の支援に満足していますか。	15	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIDS DIARY松原			公表日		令和7年4月10日		
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		1	4	限られたスペースの有効活用はできている。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		配置人数は守れている。				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		1	4	構造化までには至っていないが、過ごし方についてはこどもの理解が進んでいる。		バリアフリー化はできていない。段差がないこともあるが、考えられることはやっていきたい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	2	生活空間は毎日掃除を行い心地よく過ごしてもらう努力している。		オムツを捨てる場所の確保が課題。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		2	3	必要に応じて過ごしてもらう場所の利用はできている。		個別の部屋までは対応できていない。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		全ての職員が参画している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		自己評価の結果は全ての職員と共有している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		職員の意見のボトムアップは意識して行えている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	3			外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		外部に研修をお願いしているものと、各委員会から研修につなげているものと研修の機会が確保されている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		今年度からの取り組みであるがホームページに公表されている、			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		5領域20項目を意識して行っている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5		事業所内会議は個別支援計画の検討の度に行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		記録をする際に必ず支援計画が見えるように設定している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5		アセスメントシートの使用は行っている。		アセスメントシートの内容については今後も改良の検討は必要と思われる。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5		本人のできそうな範囲またはできるとみこまれる範囲のなかで支援のねらいや計画を設定できている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4	1	活動プログラムの検討はチームで行っている。		プログラムの案作成を中心に考える職員にとっては負担感がある。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	季節を感じられるように違うプログラムの設定は心掛けている。	固定化したほうが過ごしやすい利用者もいるので一部固定化はやむを得ない。そのなかで違う体験ができるよう職員が工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動は計画作成にも反映されており毎日組み合わせて行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝ミーティングで気をつけるポイントなどを共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		就業時間の関係でその日に振り返りをするので毎日残業が発生してしまうので翌日の朝に共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		客観的な視点の記録は徹底できている。記録の内容は翌日の朝共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い計画の見直しを行えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動の組み合わせは月行事にも明記してある。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		選択活動を取り入れて決定する機会は設定している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が中心となって参画をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		連携を行う場合は児発管が主ではあるが連携する体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校の連絡メールに登録をするなど急な予定変更にも対応できるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	保育園や児童発達支援事業所との情報共有はこれまでできていない。	今年の新1年生は県外から転校されてきた方でその児童発達支援が閉所されていたため共有ができなかった。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		今年は該当者がいないが、昨年度に移行された方へは情報提供が行えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	研修の機会に応じて職員が参加する機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域のこどもたちとは公園活動を通して交流ができている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		宇城圏域の子ども部会への参加を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎の際が主になるが状況のお伝えを行っている。必要に応じて電話をしたり面談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	研修や講和会などの情報の提供は行えている。	ペアレントプログラムやペアレントトレーニングの職員の研修は行えているが、還元できていない。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧な説明を行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		意思の聞き取りなどを行ってから作成を開始している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		同意を得ることができている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日頃から行っている。詳しく聞いてほしい内容の場合は日にちを設定してから助言と支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		昨年の反省をふまえて父母の会の設定は行えた。	参加者が増えるような工夫が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情はまだないがご意見をいただいた時に管理者を中心に動く体制は整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的なお便りの発行やSNSのインスタグラムを活用して様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		留意して行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		相手が意思を伝えられる配慮は行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		地域の住民を事業所の行事に招待したことはない。安全面の確保や個人情報の保護等の危惧される案件をクリアするまでは難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各委員会で検討して策定している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPの自然災害、感染とも行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		服薬、予防接種の状況、てんかん発作時の対応の仕方は共有が行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	保護者から聞き取りで利用者の食物アレルギーの把握はできている。	医師の指示書はもらっていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全委員会を開催し安全に関しての意識の共有が職員で行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		SNS等で発信し、周知に努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットを事業所内だけでなく同系列の事業所とも共有を図り、再発防止の検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修を確保している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に身体拘束についての説明を行っており、同意書をいただいている。		